

日時

11月21日(土)

開始 13:00  
終了 15:30

報告  
浅井基文

国際問題研究者

## 習近平中国の「特色ある社会主義」と米中対立

“習近平中国の「特色ある社会主義」に関しては、習近平「個人崇拜」に対する嫌悪感・違和感が先行して否定的・懐疑的な見方が支配的です（私も「個人崇拜」は体質的に受け付けない）。中国理論界屈指の韓慶祥の論文「習近平新時代中国特特色社会主義思想根本観点的方法論」（『人民論断網』掲載）の解説に拠って実事求是で理解を深めることが狙いです。“米中対立”についても、「強国」実現を呼号する習近平中国への反感及びアメリカ・メディアの影響によって、私たちは「色眼鏡」で物事を見ています。二つの「色眼鏡」を外した米中対立の実像は何か、を考えることが今ひとつの狙いです。

日時

11月28日(土)

開始 13:00  
終了 15:30

報告  
安田浩一

ノンフィクション  
ライター

## 現代日本の反動潮流

——愛国心を振りまわす懲りない面々

2020東京都知事選で、維新の会推薦の小野候補が10%を得票して第4位に浮上、第3位のれいわ山本候補に肉薄した。さらに在特会の後身・日本第一党の桜井党首も2・9%を得票し第5位につけた。戦前、ドイツでナチ党が政権を掌握したのも初めは普通選挙をつうじてだった。右傾化が指摘される中、いま日本で何が起きているのか？ 今年7月のHOWS講座で『『仕組まれた』関西生コン労組弾圧事件』をテーマに、ヘイト集団がいかに関西生コン労組弾圧に奔走したかを報告していただいた講師に再度、現代日本に跋扈する反動潮流について、縦横に語っていただく。

日時

12月2日(水)

開始 18:30  
終了 21:00

報告  
立野正裕

元明治大学教員

## 中野重治「歌のわかれ」

（『村の家／おじさんの話／歌の別れ』講談社文芸文庫収録）

日本ファシズムの激化してゆく時代、戦争に突入してゆく時代、文学者たちはどのように時代および現実と向き合ったのか。そのまなざし、その精神のうちそとを、当時代を代表する四人の作家それぞれの秀作をとおして見つめなおす。（開始時間は各回とも午後6時30分）

会場案内 ★最寄り駅は地下鉄丸の内線・大江戸線  
本郷三丁目駅

会場 **本郷文化フォーラムホール**  
〒113-0033東京都文京区本郷3の29の10飯島ビル1F  
（最寄駅=地下鉄本郷三丁目）  
■問い合わせ TEL=03(5804)1656  
FAX=03(5804)1609  
メールアドレス=hows@dream.ocn.ne.jp

